

チャレンジ1.5K

与論町立茶花小学校 PTA会長 裾分 功

鹿児島県の最南端、与論町にある茶花小学校では、7月初旬に遠泳大会を開催しています。

6年生になる我が子は昨年、目を怪我してしまい、1年間プールや海に入れず、楽しみにしていた遠泳大会に出場できませんでした。

昨年の悔しさを晴らすべく「我が家のチャレンジ」は「親子で目指せ1.5K」です。小学校最後の遠泳大会、④コース1.5K（メートル）をを目指す息子。30代最後の夏の1.5K（グラム）痩せる父の思惑が一致してのチャレンジでした。

運動が大好きな息子ですが、やはりゲームやアニメも大好き。梅雨時でなかなか海に泳ぎに行くこともできない中、ゲームやテレビに費やしていた時間を、家

の中での体力づくりに充てて頑張りました。

一方、サッカーなどスポーツ「観戦」が大好きな父、やはり観戦しながらのビールやつまみが好きです。息子が我慢しているのだから父も少しばかり我慢。

いよいよ遠泳大会本番。無事に息子は1.5Kメートルを完泳してくれました。雨が多く練習量も少なかつた中で、しっかりと目標をもち親子

でチャレンジできて本当によかつたなと思えました。

今回のチャレンジを行うにあたり、PTA活動も形が変わっていく中、自分がこうやって子供たちと共に思い出を作っていく、改めてPTA活動の大事さを考えさせられました。

私のチャレンジに関して は、今年中の宿題となった ようです。



遠泳に臨む子供たちの緊張をほぐし、意欲を高めるため、副会長と学校長に担がれ海にダイブする息子

私の忘れられない思い出の一曲

いつかの少年（長淵剛さん）

鹿屋市立花岡小学校 PTA副会長 藤園智信

縁あってお寺の一人息子として命を授かりました。後を継ぐ以外の選択肢は一切与えられず（笑）、中学卒業後は、佐賀県の宗門関係の高校に進学しました。親元を離れ、

誰一人知る人のいない不安や淋しさの中で、大きく私の背中を押してくれたのは、同郷の誇り、長淵剛さんの歌う「いつかの少年」でした。ふるさとを離れて初めて知る生まれ故郷の有り難さ。若干15歳の私に、ふるさと鹿児島を歌う長淵さんの声はとても力強く、「大丈夫、大きく成長して帰ってこい」と語りかけてくれていたようで、涙が止まりませんでした。

けれども、我が子を授かって今思うのは、あの時、泣いていたのは、私以上に、鹿児島に住む両親

「かわいい子には旅をさせよ」おそろく両親の心にも子離れは大きなけじめであり、親としての自立であつたのでしょうか。今度は私がその立場になつてもつ度聞いてみたい。そう、いつかの少年みにたいに。



PTAソフトバレー大会6年生チーム